



寝

取

られる

妻

女

「あなた、
許して...」

この

不倫

は

夫

のため

ころすけ

6



寝たフリをしたんだ…



知之さん!?

お起きてたん
ですか!?

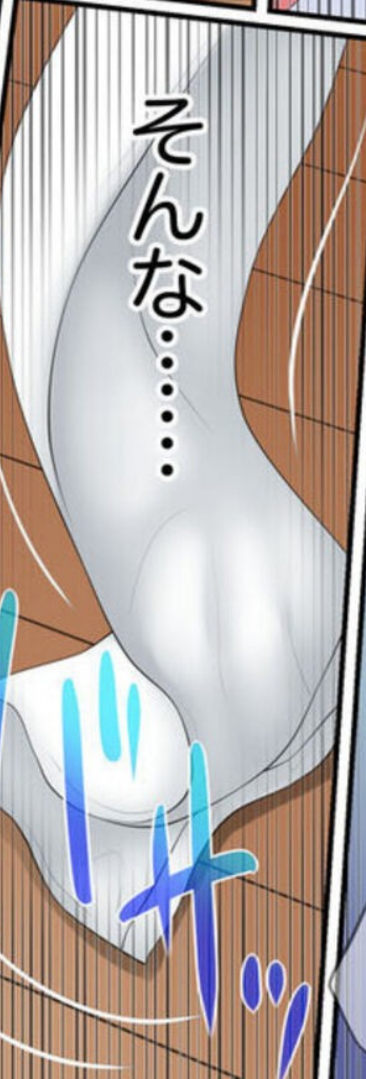


そ…それじゃ…

ああ見た…
君が…
まさか…
君が…



す
と
ん



そんな…

し
か
し



君があんなに興奮して
乱れるところなんて
初めて見た…

っっ!!

ウン…



知之さんに
見られてた
なんて…

『だからお前は何も悪くないんだ』

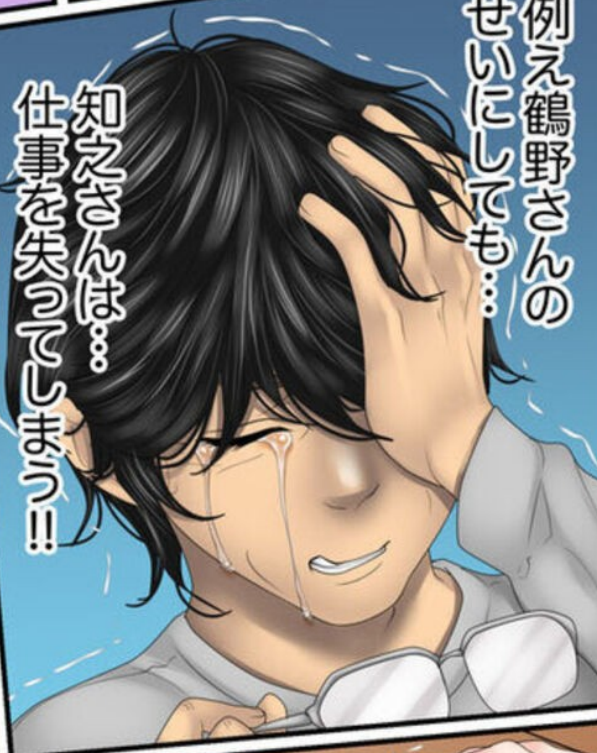
『雪音はただ俺に襲われたんだ』



……言えない……

ズカッ

例え鶴野さんの
せいにしても…



知之さんは…
仕事を失ってしまっ!!

私のせいでこの先
めちやくちやに…!!

ごめんなさい!!



ごめんなさい
知之さん!!



……ふふ……



ふふふふ……

ポタ

ポタ

私の…

痛いよ…

心が痛い…

こんなにも
なのか…

最愛の人が
他の男に抱かれる
様を見るなんて…

ううっ！
ううっ…

パタン…

パタッ

これがその痛み
苦しきなのか…

ごめんなさい…

ごめんなさい…

ジャン

ジャン

!?



頼むから…



謝らないでくれ…



そんな君に対して
僕は罪悪感なんて
感じたくない！



でも君の犯した
罪も事実だ



と知之さん
それはどういう…

つつ!!…



だから
謝らないでくれ!!

……?
?



僕は…

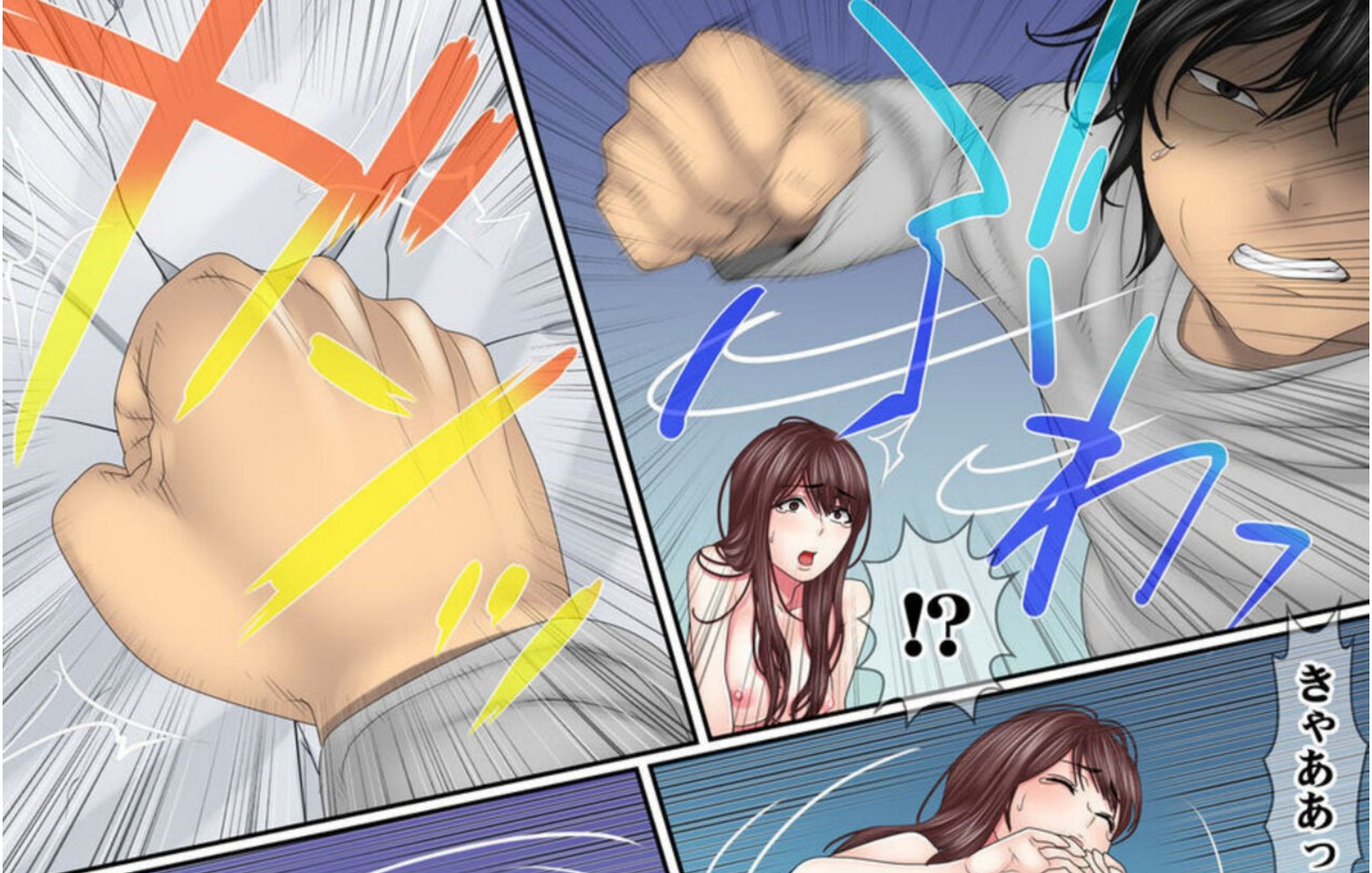
僕はむしろ…

君に謝る立場
かもしれない…

ズケッ

ブル

ブル

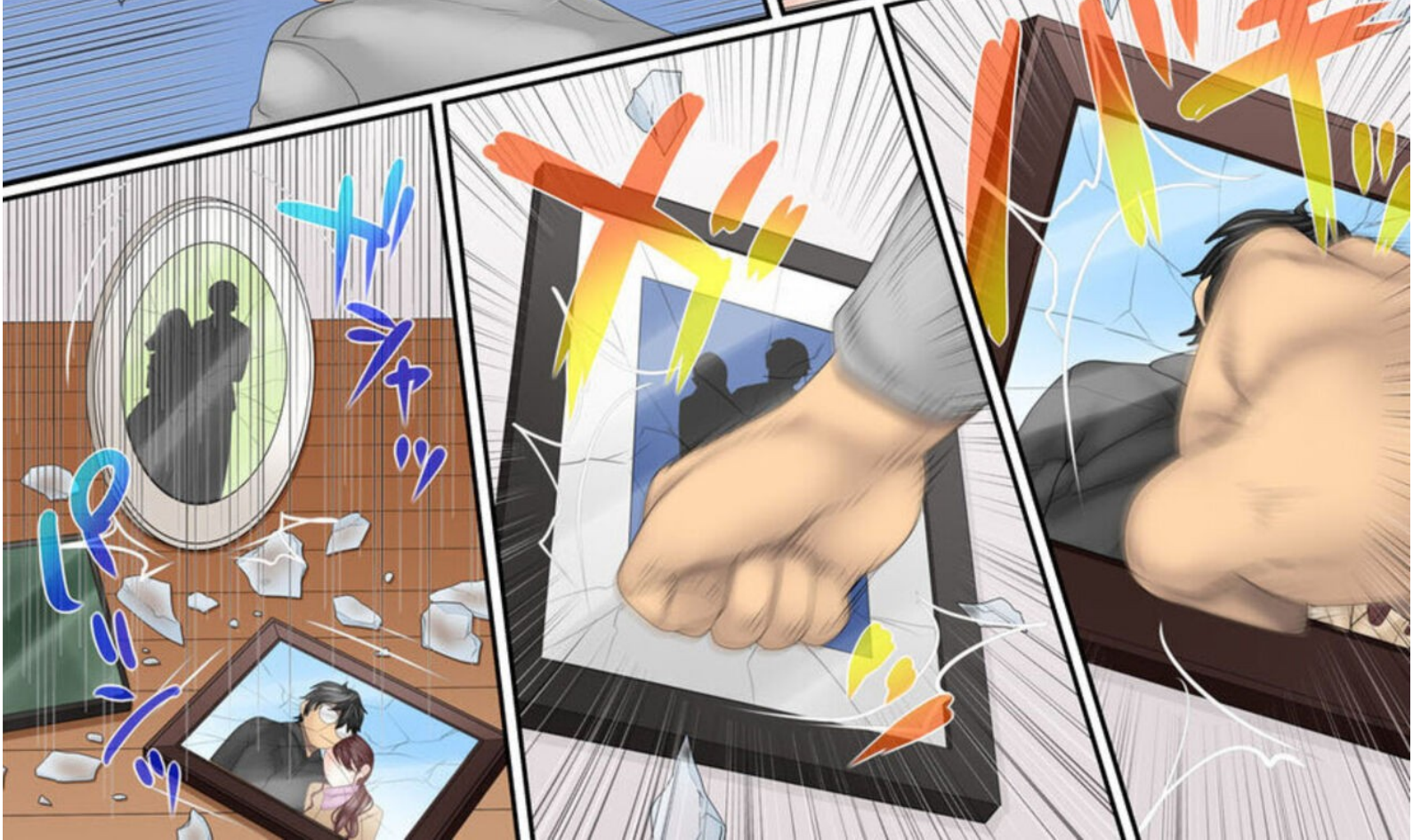


!?

きゃああつ!



...ウ



ザッ
ザッ
ザッ

パッ
パッ
パッ





一体…何が
言いたいんですか？

わ…
わかりません…私…



っっ!!?

ゼッ
クッ



ゼッ
クッ



な何を……!!



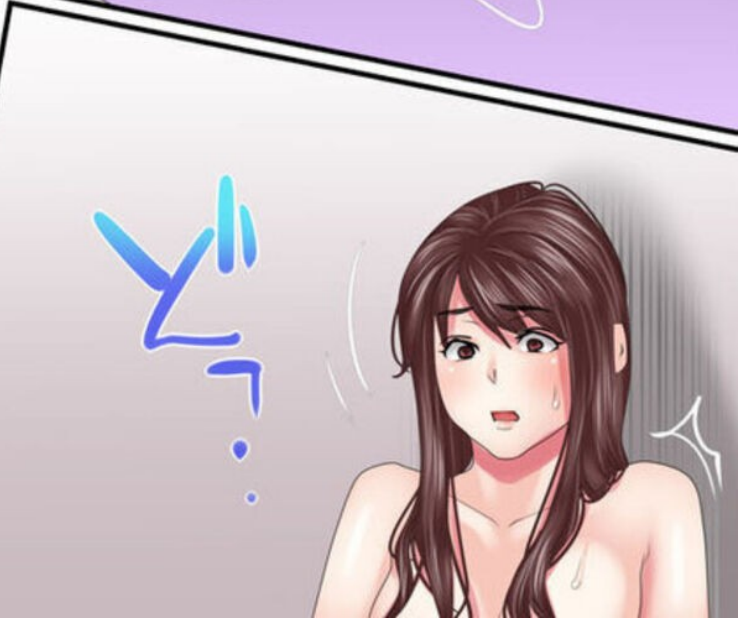
と知之さん？

知之さん!

ゾ
ク
ク



…知之さん!



ゾ
ク
ク





……えっ……？

とっ……
知之さん！

うっ……
……

待って……

……

そのままの意味だ

あっ！

……変える
必要はない！

何も……

うっ！

うあっ……！

あああ……！

……



僕の為に…



不倫を続けてくれ



鶴野くんから…

僕のための
ネタ作りだって

言われてたんだらう？

……



わかりません…

言ってる
意味が…



最初から全部…!!

バシてたんだ…

バ…



何も書けない!!



作品を書けない…

僕はもう…

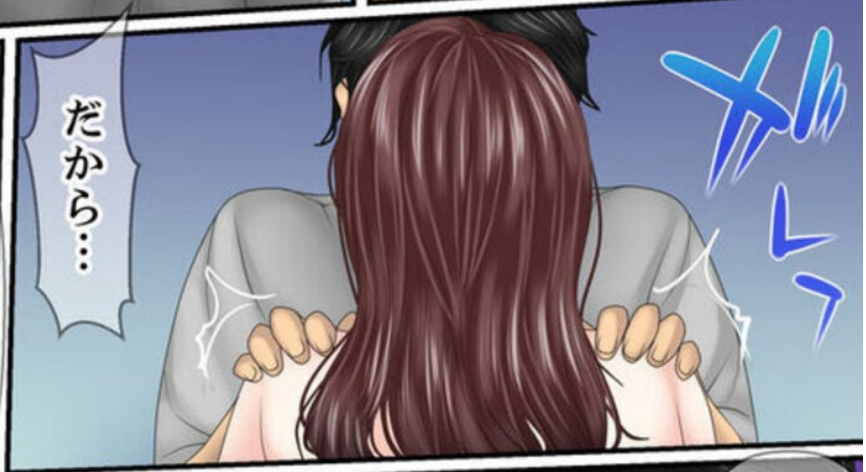


鶴野君の
言う通りなんだ



そのために君は
不倫を続けてくれ

鶴野君には
内緒で…

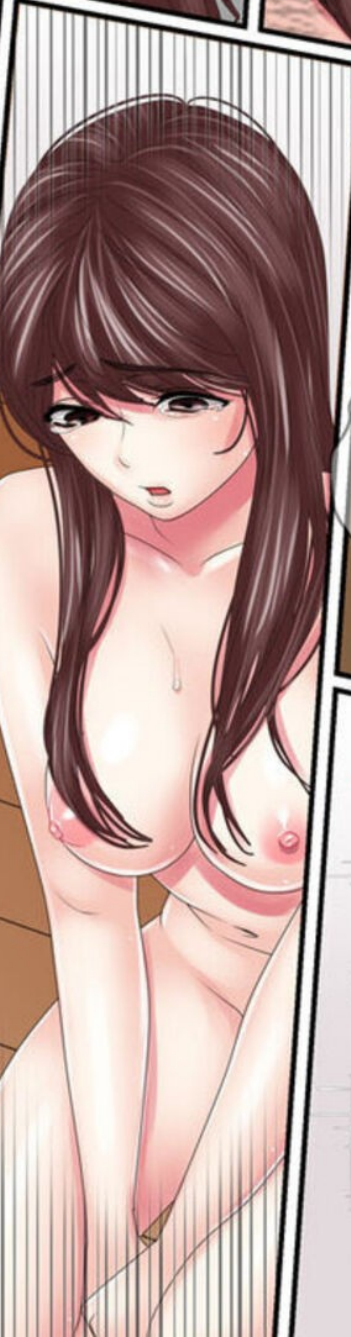


だから…



それを小説にする

だから君が不倫
している様子を見て



私はまだ

あの夜起ったことが
飲み込めずにいる

あれから頭を冷やすと
言ったまま

知之さんは家を出て
帰って来ない

大丈夫かな？
知之さん…

すごい雨…

知之さんからは

00:00 10
友之さん 今日
数日で戻るから検索願は
出さなくてもいいよ。
少し時間が欲しい。

わかりま

…と連絡が
あったきり

もしかすると隠れて私を
見張ってるんじゃないか？

…なんてことまで
考えてしまう

こんなことを友達や親にも
相談することができず

今日は
部屋干しね

私はひたすら知之さんの
帰りを待っていた

洗濯物…
干さなくちゃ

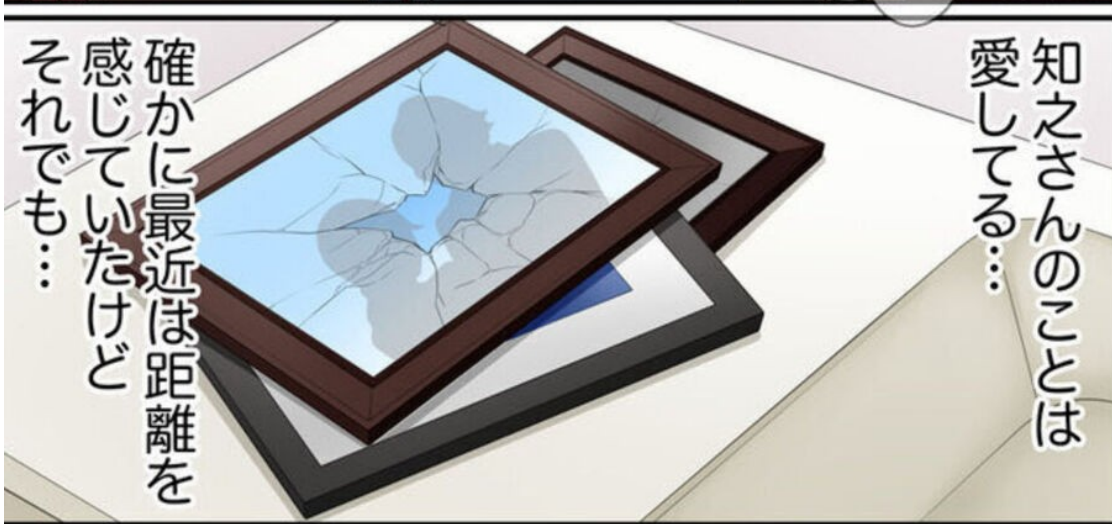
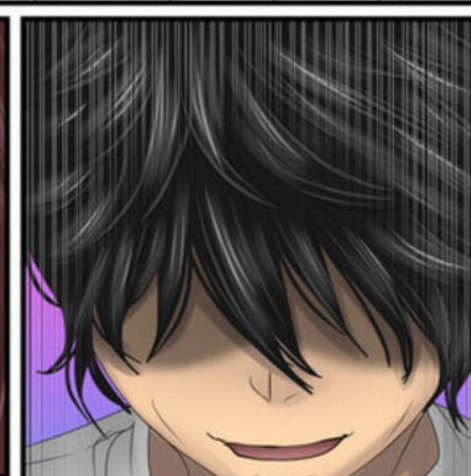
それ以外は電話にも
出てくれない





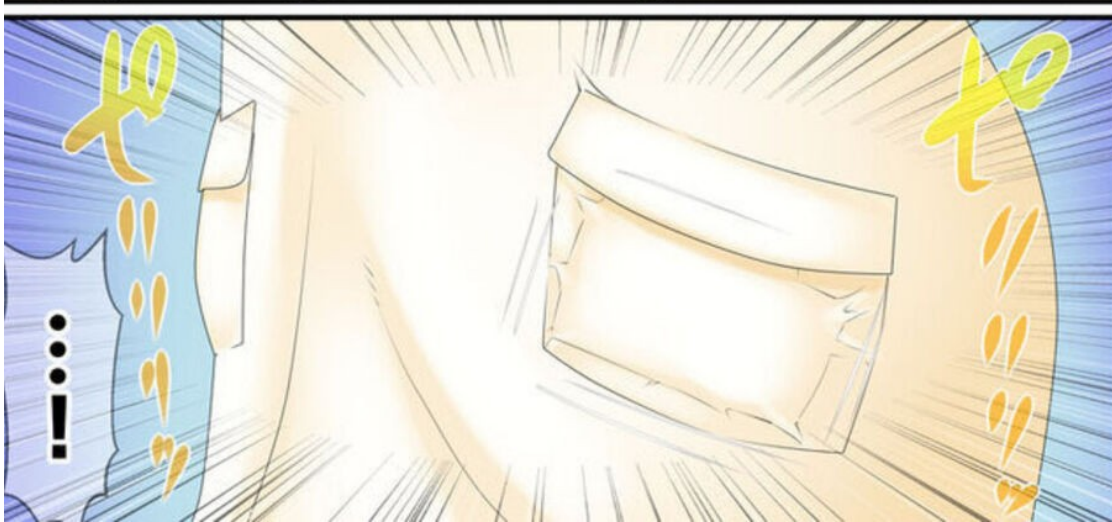
夫公認で不倫する
ってことだよな？

知之さんの言ってた
ことって要するに…

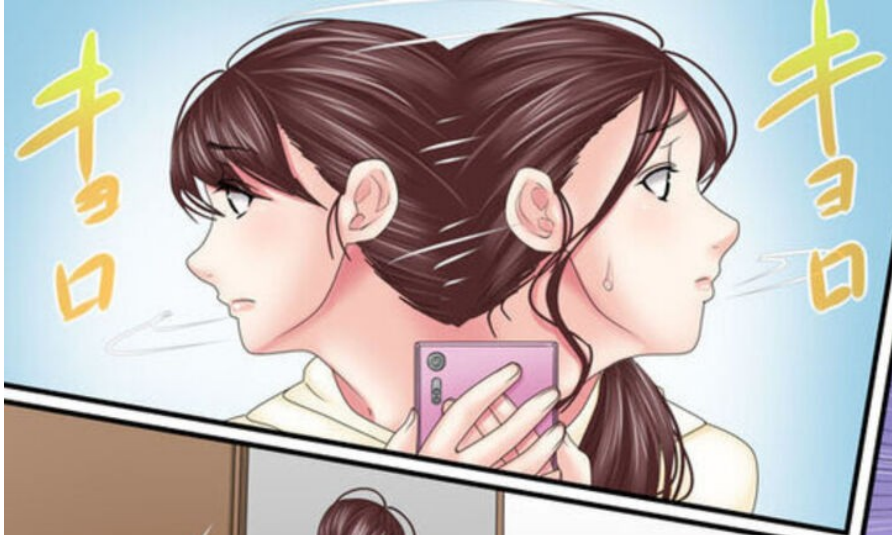


知之さんのことは
愛してる…

確かに最近ほ距離を
感じていたけど
それでも…



『僕の為に不倫を続けてくれ』



キョロ

キョロ



つ鶴野さんだ！

どうしようここで
出ても大丈夫かな？



たた



…雪音です

ここ
書庫なら音も外に
漏れないはず…

おう突然かけて
悪いな！今大丈夫か？

はい…



ガッガッ

キョロ

こ……

週末デートの約束は生きてるよな？

えっ？…

ウソだろまさか
忘れたのか？

今日はその
週末だぞ

あ…ごめんなさい
私今それどころじゃ
ない状況で…

おい…何かあったのか？

その知之さんが…

『鶴野君には
肉緒で…だ』

つつ!!…

先生がどうか
したのか？

あえつと…
些細なことで
ケンカになって…

家出してるん
です…

ええ？
えつと…

雪音じゃなく
先生が？

えっ？そそう
なんですか？

ああ…

待てよ？…
ってことはだ…

でもちゃんと仕事の
やり取りはやってるぜ？

俺は今

お前を奪い取る
絶好のチャンスに
いるってわけだ



ここんなときに
男の人と遊びに
出ていくなんて
無理です！



~~~~つっつ!!

グアアッ



...そっか...

まあそうだな

悪いじゃあ  
また誘うよ



こ...



ホントは

すぐ行きたかった  
自分がいる...



断っちゃった...



『不倫を  
続けてくれ…』

『ここから先は  
俺次第…  
お前次第だ…』

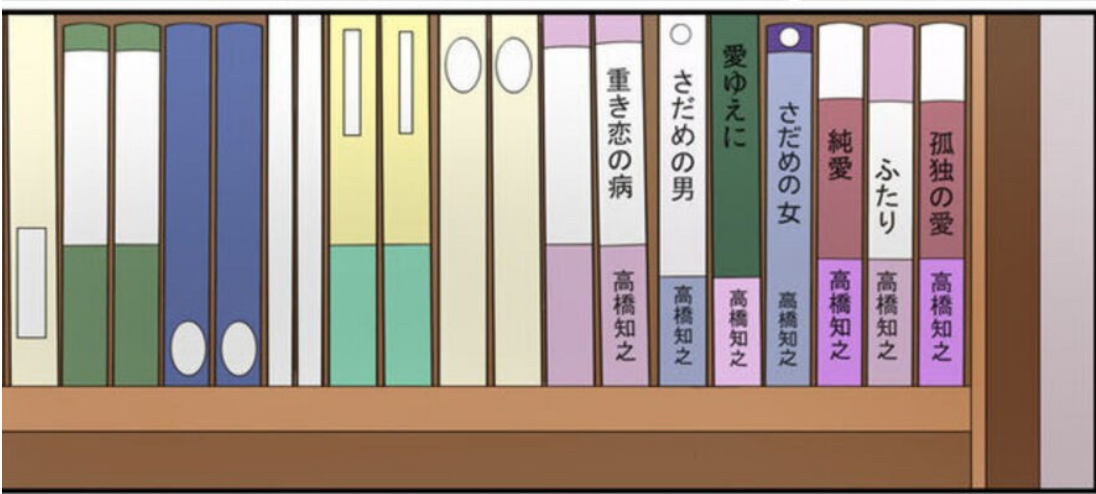


あーもう!!  
そんなこと

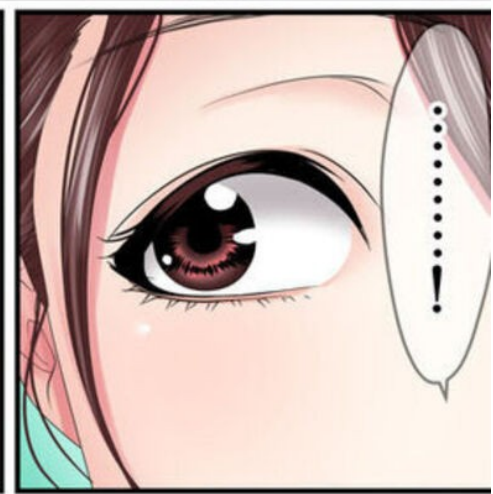
できるわけ  
ない!!



~~~~!!



| | | | | |
|-------|-------|------|------|------|
| 愛ゆえに | さだめの女 | 純愛 | ふたり | 孤独の愛 |
| さだめの男 | 高橋知之 | 高橋知之 | 高橋知之 | 高橋知之 |
| 重き恋の病 | 高橋知之 | 高橋知之 | 高橋知之 | 高橋知之 |



……!!

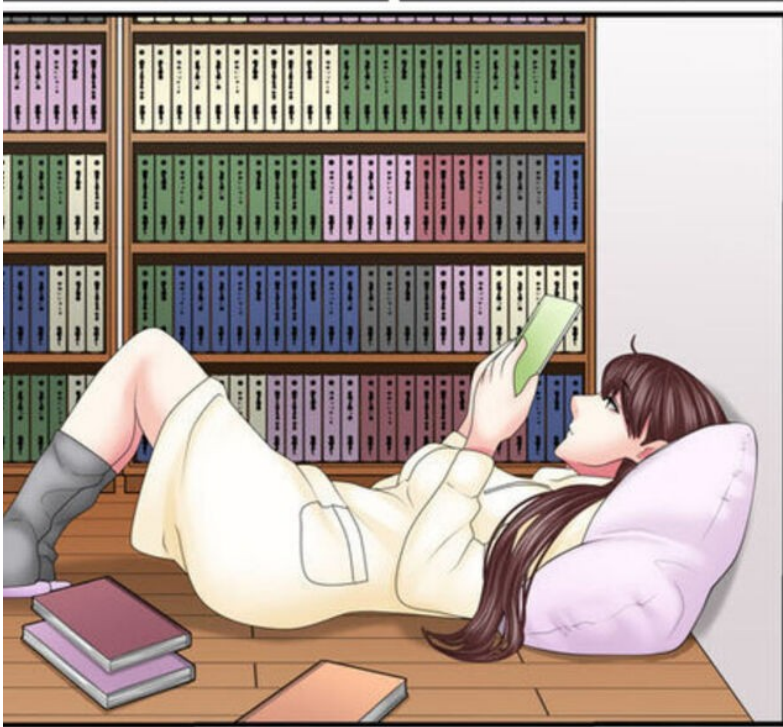
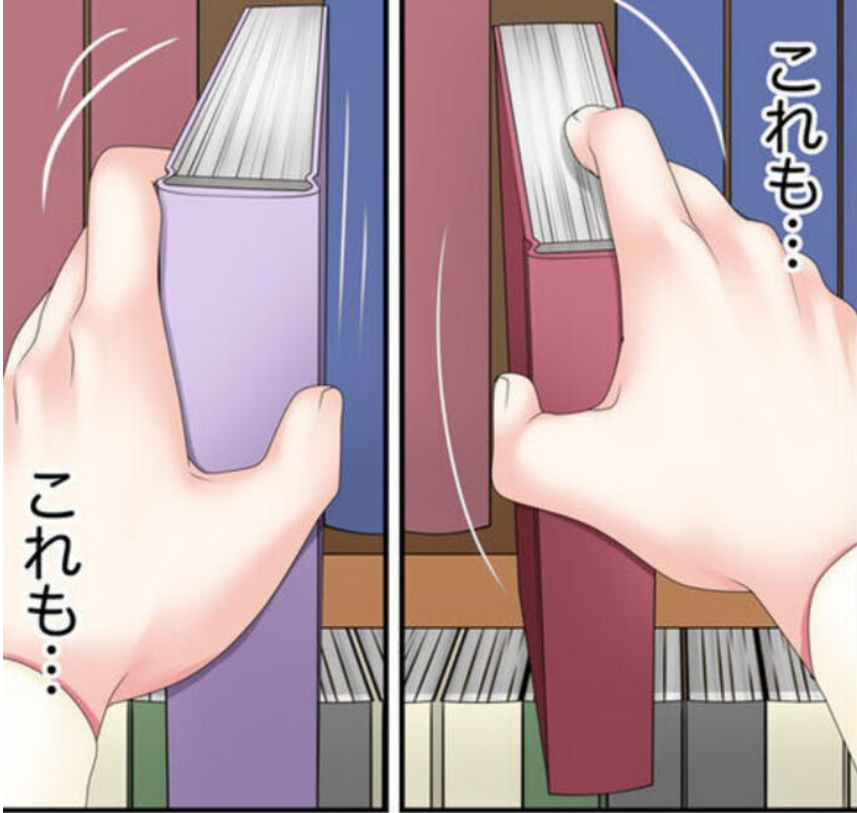


学生の頃何度も
読んだっけ…

確か知之さんを
鶴野さんが編集担当した
初めての作品なんだよね…



この本…





ずっと読んでたら...

もぞもぞ



なんだか...

もぞもぞ



もぞもぞ

おはよー!



あつ

ん...

あつ...は...

おはよー

ぬち

ぬち

あんつ...



...んつ...

おはよー



ん...

...あ

おはよー





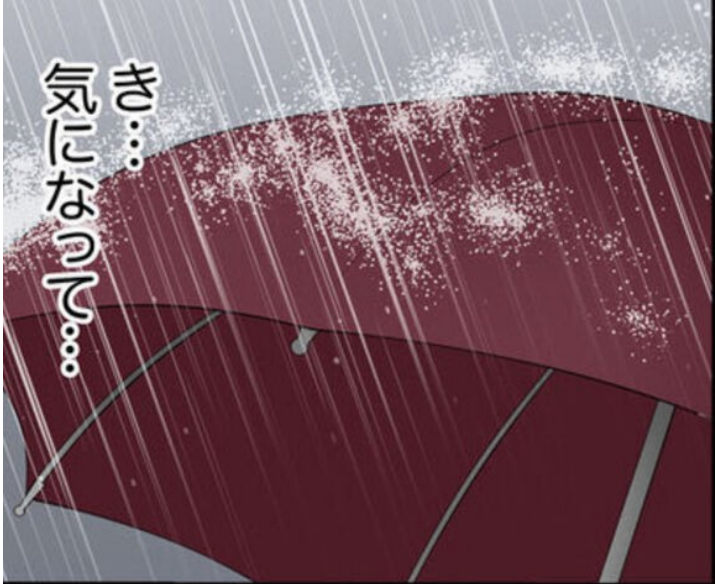
私変態
なのかも…



夫の小説を読んで
欲情するなんて…



…って鶴野さんが
言ってたし…



き…
気になつて…



雨の中じゃ
しまった…

こんなときなのに
私ときたら…

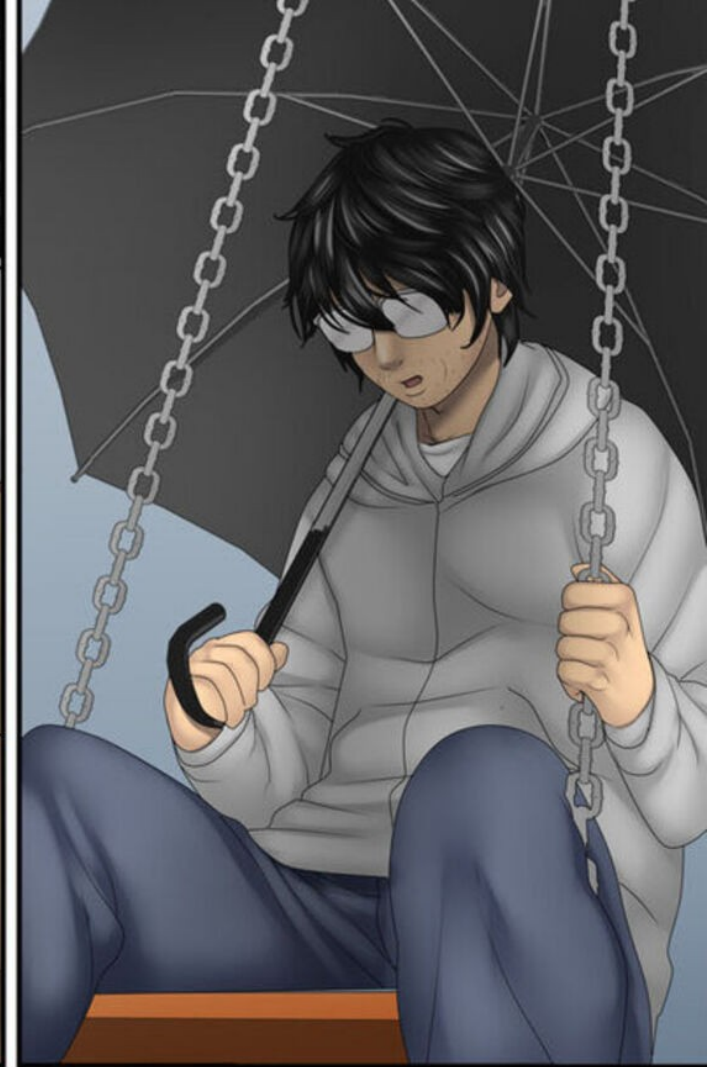


いつまでもネットカフェで暮らすわけにはいかない…

今更どんな顔して家に帰ればいいのか…



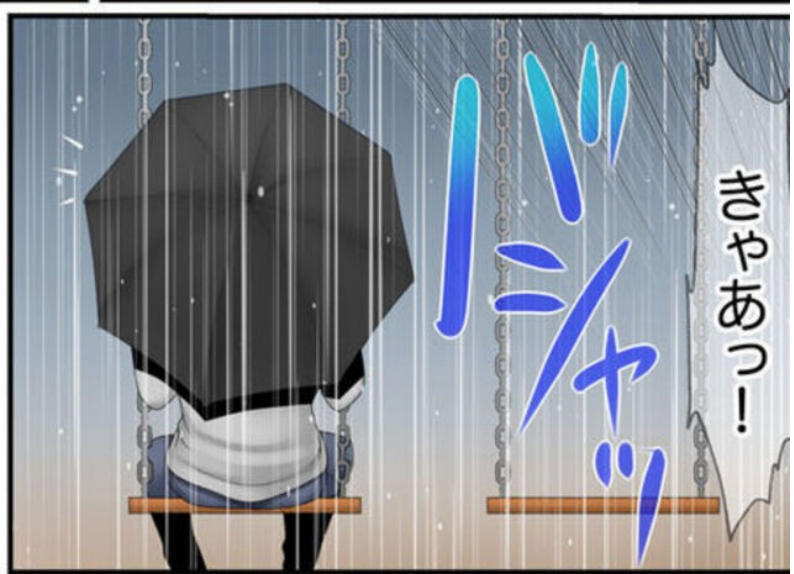
帰るタイミングを見失った…



ゆ雪音ちゃん!?

い…痛ったあ…

雨の日にこんな滑りやすい靴履いてくるんじゃないか…



バニャッ

きゃあっ!





To be continued

エロマンガ島

この不倫は夫のため
「あなた、許して…」と、寝取られる妻6

発行日 2019年 6月 1日

著者 ころすけ

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。